

障害者の芸術活動への支援を 推進するための懇談会

第2回資料

一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

懇談会 構成員

上野 密 プロフィール

一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会 常務理事
 社会福祉法人 日本肢体不自由児協会 理事・評議員
 社会福祉法人 全国心身障害児福祉財団 理事・評議員
 財団法人 日本おもちゃ図書館財団 評議員
 公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 理事

全肢連の取り組み

グラフィックアート・コンテンツ

趣旨

本会では、肢体不自由児者のリハビリテーションの一助として活用されていた「電動タイプライター」の活字や記号を組み合わせ、絵やデザインとして創作した作品の発表の場として、昭和57年より「タイプライターコンテンツ」をスタートした。

時代の流れとともに、このコンテンツもコンピュータ・グラフィックコンテンツ等、形を変え今年で32回目を迎えた。現在は「コンピュータアート」「デジタル写真」「動画」部門を設け、障害児者の芸術活動を応援している。

作品 コンピュータアート／デジタル写真／動画

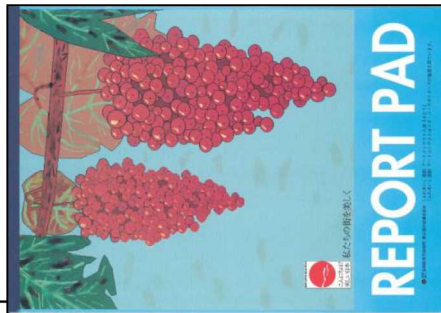
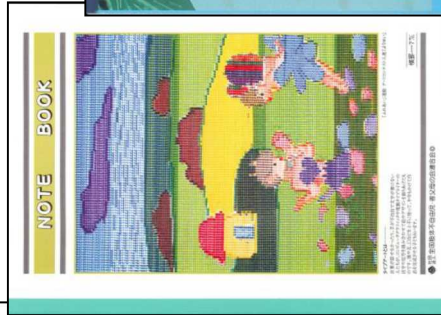
応募資格 コンピュータアートの部 障害児者
デジタル写真／動画の部 障害児者とその家族、関係者

表彰及び広報

社会に対する啓蒙活動として、優秀作品を表紙にしたノート、レポート用紙などの頒布活動を行っている。

ホームページ「響」などで広報に努めている。

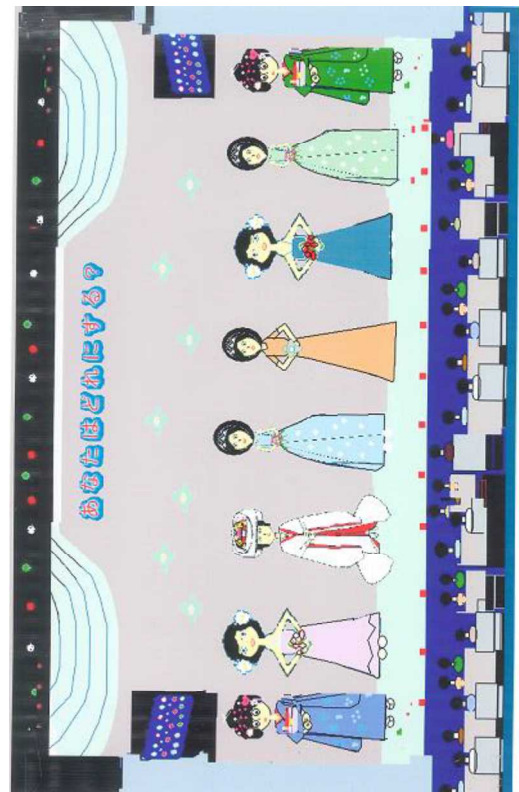
優秀作品をノート等の表紙に



第31回 優秀賞
浜 茂美 「島根の城」



第32回 コンピュータアート部門
優秀賞 金田浩美 「わたしのあこがれ」



第32回 デジタル写真部門
優秀賞 森 米子 「はるか～2013年5月」



日本肢体不自由児協会 主催 「肢体不自由児・者の美術展」「肢体不自由児・者のデジタル写真展」

「肢体不自由児・者の美術展」

趣旨

全国の肢体不自由児・者から美術作品「絵画」「書」「コンピュータアート(タイプアート含む)」を募集し、肢体不自由児・者の生きがいづくりに資するとともに、一般の人々の障害者に対する理解を促進することを目的とする。毎年12月の障害者週間に合わせて展示会を開催する。

「肢体不自由児・者のデジタル写真展」

趣旨

デジタルカメラで写真を撮るというのは、自分で作品を作る楽しさを比較的簡単に味わうことができるとともに、撮影した写真を加工して楽しむことができる。

そこで全国の特別支援学校や肢体不自由児・者施設等に働きかけデジタル写真作品を募集し、コミュニケーションと生きがいづくりの構築をはかることを目的とする。毎年12月の障害者週間に合わせて展示会を開催する。

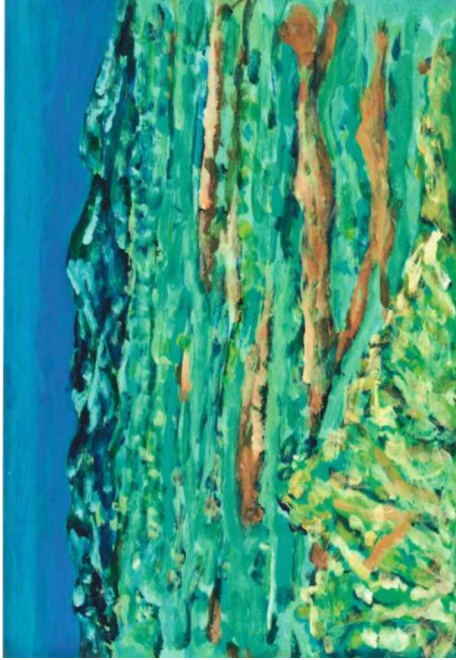
全肢連の取り組み

今年で32回となる日本肢体不自由児協会主催の「肢体不自由児・者の美術展」「肢体不自由児・者のデジタル写真展」に発足当時より参画し、運営委員を務めるほか、「絵画」「書」部門に全国肢体不自由児者父母の会連合会賞を設けるなど芸術活動に寄与している。

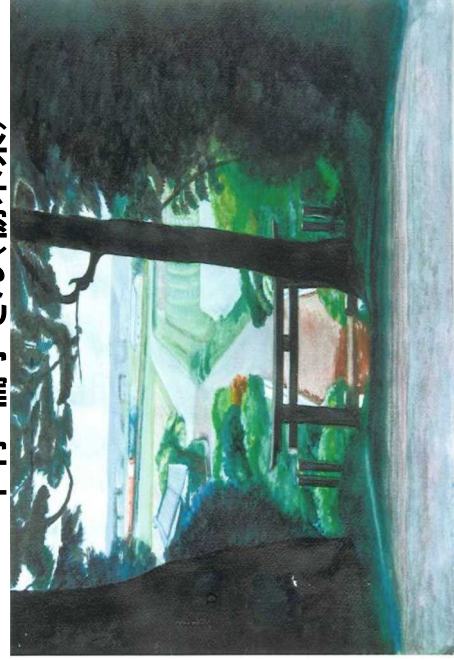
また、本会の会報等に受賞作品を掲載して報告、周知をしている。

全肢連賞

23年度(第30回)絵画の部「野山」
浦上哲也(山梨県)



24年度(第31回)絵画の部「杜の中から」
中村 倫子さん(栃木県)



23年度(第30回)書の部「大地」
船橋総一郎(青森県)



24年度(第31回)書の部「空閑茶味清」
石川 國子(沖縄県)

